

シンポジウム「日本の技術史を見る眼」関係（講演報告資料集等）総目次（2016年2月現在）

中部産業遺産研究会

シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第3回 井塚政義講演資料集（1984.3.4開催） ー技術文明史から見た東海地方ー

編集：愛知技術教育研究会、発行：愛知技術教育研究会、発行日：1984.3.4、判型：B5判、頁数：42+25

はじめに		愛知技術教育研究会	
1.	中世鉄冶金の遺宝(1)～(6)ー技術と信仰の接点・鉄仏ー（『内燃機関』20巻8号～21巻1号、山海堂より転載）	井塚 政義	1
2.	続・「室町技術革命」の展開ー『比較日本技術革命誌』のための部分的草稿ー（『名古屋栄養短期大学紀要』第1号、1976、名古屋栄養短期大学、P109-125より転載）	同	15
3.	技術と戦略ー国難を救った航海術ー（『内燃機関』vol.19 No.232、1980.1、山海堂より転載）	同	33
4.	続・技術と戦略ー「世紀の大勝」待ち伏せ作戦ー（『内燃機関』vol.20 No.247、1981.3、山海堂より転載）	同	38
一.	民衆始導に始まる技術の湧動（『庶民の世紀 中世の技術革命』1981.11、朝日ソノラマより転載）	同	5
二.	庶民が育てた鉄（『和鉄の文化 その系譜・美・技術の魅力』1983.9、八重岳書房より転載）	同	13
三.	民族とその技術性（『技術文明史論』1972.9、ミネルヴァ書房より転載）	同	21

シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第4回 講演・報告資料集（1985.2.3開催）

編集：愛知の産業遺跡・遺物調査保存研究会、発行：愛知の産業遺跡・遺物調査保存研究会、発行日：1985.2.3、判型：B5判、頁数：31

I. [講演1]	岡崎市滝町、米河内町における水車紡績の盛衰	近藤 長作	1
II. [報告]	三河ガラ紡績の実態調査・中間報告ーガラ紡績機の機構と特長ー	加藤 俊雄・加藤 博雄・人見 昭・天野 武弘・石田 正治	
	ーガラ紡績機の機構と特長・資料図集ー		9
	ーガラ紡績実態調査・参考資料ー		17
III. [講演2]	土木技術遺産としての人造石（たたき）構造物ー愛知県内における服部長七の施工遺跡を中心にー	飯塚 一雄	26

シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第4回 報告集（1985.2.3開催）

編集：愛知の産業遺跡・遺物調査保存研究会、発行：愛知の産業遺跡・遺物調査保存研究会、発行日：1985.10.27、判型：B5判、頁数：84

開会挨拶		人見 昭	1
講演1	岡崎市滝町・米河内町における水車紡績の盛衰（講演録）	近藤 長作	5
質疑応答			15
	三河ガラ紡績の実態調査・中間報告ーガラ紡績機の機構と特長ー	加藤 俊雄・加藤 博雄・人見 昭・天野 武弘・石田 正治	17
報告	三河ガラ紡績の実態調査・中間報告ーガラ紡績機の機構と特長ー（講演録）	加藤 俊雄	19
	ーガラ紡績機の機構と特長・資料図集ー		22
	ーガラ紡績実態調査・参考資料ー		30
質疑応答			38
	土木技術遺産としての人造石（たたき）構造物ー愛知県内における服部長七の施工遺跡を中心にー	飯塚 一雄	42
講演2	土木技術遺産としての人造石（たたき）構造物ー愛知県内における服部長七の施工遺跡を中心にー（講演録）	飯塚 一雄	61
質疑応答			67
討論			68

シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第5回 講演・報告資料集（1986.2.16開催）

編集：愛知の産業遺跡・遺物調査保存研究会、発行：愛知の産業遺跡・遺物調査保存研究会、発行日：1986.2.16、判型：B5判、頁数：36

1. [報告]	産業記念物 大同特殊鋼の1.5トン電気炉をめぐる	中住 健二郎	1
2. 講演I	尾張地方の織物の歴史ー近世後期から第二次大戦までー	塩澤 君夫	15
3. 講演II	博物館の建設と資料収集・保存について	岩野 見司	25
付.	ーシンポジウム開催小史ー		34

シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第6回 講演・報告資料集（1987.2.15開催）

編集：愛知の産業遺跡・遺物調査保存研究会、発行：愛知の産業遺跡・遺物調査保存研究会、発行日：1987.2.15、判型：B5判、頁数：33

1. [講演]	科学館のむかし・いま・これからー日本の博物館の建設の動向と視点ー	瀧本 正二	1
2. [報告]	近代水車の技術史的評価ーケーシングの発達を「ものさし」としてー	高橋 伊佐夫	11
3. [報告]	奥三河の水車製材跡の調査ー産業考古学的フィールドワークの方法と視点ー	天野 武弘	21
付	ーシンポジウム開催小史ー		

シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第5回 報告集（1986.2.16開催）

編集：愛知の産業遺跡・遺物調査保存研究会報告集編集委員会、発行：愛知の産業遺跡・遺物調査保存研究会、発行日：1988.1.24、判型：B5判、頁数：95

開会挨拶		佐々木 享	1
報告	産業記念物・大同特殊鋼の1.5トン電気炉をめぐる（講演録）	中住 健二郎	5
質疑応答			11
講演1	博物館の建設と資料収集・保存について（講演録）	岩野 見司	20
講演2	尾張地方の織物の歴史ー近世後期から第二次大戦までー（講演録）	塩澤 君夫	45
質疑応答・討論			71

シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第7回 講演・報告資料集 (1988. 1. 24開催)

編集：愛知の産業遺跡・遺物調査保存研究会、発行：愛知の産業遺跡・遺物調査保存研究会、発行日：1988. 1. 24、判型：B 5 判、頁数：51

1. [講演]	水力機械の発達史	村上 光清	1
2. [報告]	在来型水車の歴史的評価	前田 清志	23
3. [報告]	小里川発電所調査報告	田口 憲一	24
4. [報告]	大阪の代表的な産業水車	出水 力	36
5. [報告]	愛知県内に現存する水車の調査報告	杉浦 雄司	42
付録	ーシンポジウム開催小史ー		50

シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第8回 講演・報告資料集 (1989. 6. 25開催)

編集：愛知の産業遺跡・遺物調査保存研究会、発行：愛知の産業遺跡・遺物調査保存研究会、発行日：1989. 6. 25、判型：B 5 判、頁数：41

I. [報告]	ガラ紡績にみる日本独自の技術の展開	石田 正治	1
II. [講演]	技術移転ー日米比較ー	小林 達也	25
付録	ーシンポジウム開催小史ー		39

シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第9回 講演・報告資料集 (1990. 7. 15開催)

編集：愛知の産業遺跡・遺物調査保存研究会、発行：愛知の産業遺跡・遺物調査保存研究会、発行日：1990. 7. 15、判型：B 5 判、頁数：40

I. [講演 I]	エントロピー論からみた工業技術史	河宮 信郎	1
II. [講演 II]	技術形成の国際比較ー日本・メキシコ・韓国の自動車産業ー	中岡 哲郎	14
参考資料	日本の近代化と技術革新 国際日本文化センター主催シンポジウム『世界の中の日本』、1989. 3、より転載	中岡 哲郎	36
付録	ーシンポジウム開催小史ー		37

シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第10回 講演報告資料集 (1991. 7. 6開催)

編集：愛知の産業遺跡・遺物調査保存研究会、発行：愛知の産業遺跡・遺物調査保存研究会、発行日：1991. 7. 6、判型：B 5 判、頁数：21

I. [講演]	戦前戦後の技術比較ー主として特許制度の面から見るー	奥村 正二	1
II. [報告]	シンポジウム「日本の技術史をみる眼」ー10年の歩みー	石田 正治	14

シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第11回 講演報告資料集 (1992. 5. 17開催)

編集：愛知の産業遺跡・遺物調査保存研究会、発行：愛知の産業遺跡・遺物調査保存研究会、発行日：1992. 5. 17、判型：B 5 判、頁数：47

[講演]	日本の航空機発達史ー飛行機設計50年の回顧ー	土井 武夫	1
	シンポジウム開催小史		45

シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第12回 講演報告資料集 (1993. 9. 12開催)

編集：中部産業遺産研究会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：1993. 9. 12、判型：B 5 判、頁数：81

I.	愛知をめぐる製鉄技術の先人たちー工学博士野呂景義 (1854~1923) につらなる人びとー	飯田 賢一	1
II.	八幡製鉄所に見る厚板工場の変遷	齋藤 恒夫	8
III.	八幡製鉄より移設された厚板圧延設備の大歯車	山本 貴志夫	54
IV.	現存最古のエルー式電気炉炉体	中住 健二郎	69
V.	見学会案内 矢作製鉄株・大同特殊鋼株知多工場	中住 健二郎	79

シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第13回 講演報告資料集 (1994. 12. 10開催)

ー鉄道遺産の現状と保存問題ー

編集：中部産業遺産研究会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：1994. 12. 10、判型：B 5 判、頁数：85

1.	鉄道遺産の現状と保存問題ー産業考古学の視点からー	堤 一郎	1
2.	東海道線初代揖斐川橋梁	小栗 彰夫	25
3.	名古屋市電における2軸電車の発達	加藤 久爾夫	38
4.	名鉄資料館開設の目的と経過	恒川 鋭夫	59
5.	大井川鉄道における鉄道遺産保存の経過	白井 昭	73

シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第14回 講演報告資料集 (1995. 12. 10開催)

ー日本の近代化に与えた紡織機械技術ー

編集：シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第14回実行委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：1995. 12. 10、判型：B 5 判、頁数：62

1.	紡織技術史のとらえかた	内田 星美	1
2.	わが国初期綿糸紡績業における紡績機械の発展	玉川 寛治	7
3.	G型自動織機の自動化機構からみた豊田佐吉の研究と創造ー産業技術記念館における産業遺産の保存ー	本林 孝三・大野 俊彦・河合 光兵	37

シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第15回 講演報告資料集 (1997. 3. 23開催)

常滑焼の産業遺産ーれんが煙突とまちづくりー

編集：シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第15回実行委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：1997. 3. 23、判型：B 5 判、頁数：80

1.	プロフィール		1
2. [基調講演]	煉瓦煙突の歴史と現状ー常滑焼を中心にしてー	柿田 富造	11
3.	写真家から見た常滑と世界の町並み	三沢 博昭	63
4.	ミナレットのあるイスタンブールの風景ーミナレットの耐震性能と保存ー	青木 孝義	71

シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第16回 講演報告資料集 (1997. 10. 25開催)

木曽・上松町の「鬼淵鉄橋」と産業遺産

編集：シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第16回実行委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：1997. 10. 25、判型：B 5 判、頁数：99

1. [講演]	橋梁技術史から見た鬼淵の鉄橋の価値	小西 純一	1
2. [報告 1]	小川森林鉄道と上松の産業遺産	山田 貢	19
3. [報告 2]	鬼淵鉄橋の保存運動の経緯	尾崎 文雄	41
4.	森林鉄道の思い出ー上松の森林鉄道の機関士たちと鬼淵橋ー		58
	三橋良助と上松町	三橋 幸一	58

	林鉄の機関士 番場茂三郎	田中 絹枝	60
	機関士としてのじいちゃんー佐野客二ー	佐野 綾子	61
	森林鉄道の機関士としての山崎詔治郎	山崎 忠雄	62
	小川・王滝森林鉄道の機関士たち	上田 甚蔵	63
	鬼淵の鉄橋が作られた頃の様子	山本 半治	65
	祖父と鬼淵の鉄橋	原 貫道	67
	私共一家の生活を支えてくれた森林鉄道	石原 ひさ	69
	素晴らしい橋の旅	伊藤 綾子	70
	木曽の森林鉄道を描いた原田泰治の絵本	尾崎 文雄・楯 英雄	71
5.	鬼淵の鉄橋の保存とまちおこしを巡って		73
	ある橋梁研究者の良心に学ぶー寺田博昌さんへの追悼ー	楯 英雄	73
	長野県木曽郡上松町森林鉄道 鬼淵鉄橋の重要性と保存活動について	楯 英雄	82
	木曽の森林と観光ー鬼淵鉄橋の保存とその活用ー	伊藤 国男	89
	木曽の観光資源である森林を守り育てるために	古澤 貞雄	92
	長野・岐阜県境の弥栄橋の架橋の歴史背景から学ぶむら作り	楯 英雄	95

シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第17回 講演報告資料集

(1998.9.26開催)

地名の産業遺産と地域文化ー大井川流域初期の発電所遺構の歴史的価値と地域文化ー

編集：シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第17回実行委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：1998.9.26、判型：A 4判、頁数：83

(1) [基調報告]	地名の産業遺産総合調査の目的と意義	大河内 信夫	1
(2)	旧地名発電所の沿革	大河内 信夫	3
(3) [報告 1]	地名発電所の赤れんが建物について	水野 信太郎・野口 英一郎	9
(4)	大倉喜八郎の人物像とその生涯	水野 信太郎	23
(5) [報告 2]	旧地名発電所水路系調査	平原 国男・大河内 信夫・天野 武弘・永井 唐九郎	29
(6) [報告 3]	地名発電所発電設備の調査報告	石田 正治・市野 清志・大橋 公雄・高橋 伊佐夫・中住 健二郎	37
(7) [報告 4]	地名の交通と運輸ー架空索道と舟運および島田軌道ー	堤 一郎	47
(8)	地名の交通と運輸ー大井川鉄道の建設と地名駅ー	白井 昭	62
(9) [報告 5]	地名の産業と経済・文化	板谷 幹	66
(10)	地名の水利権発生のルーツについて	藤田 正義	71
(11)	東海パルプ笹間渡発電所の歴史と遺構	永井 唐九郎	73
(12)	地名の産業遺産総合調査の経過とまとめー故・飯塚一雄氏を称えてー	天野 武弘	80
	飯塚一雄氏と地名調査	天野 武弘	82

シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第18回 講演報告資料集

(2000.2.26開催)

新幹線0系と名鉄パノラマカーー東海地方を駆け抜けた高速電車・高性能電車ー

編集：シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第18回実行委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：2000.2.26、判型：A 4判、頁数：156

[基調講演]	鉄道高速化と私鉄電車発達の歴史	青木 栄一	1
[報告 1]	東海道新幹線「0系」の足跡	須田 寛	16
[報告 2]	新幹線0系電車の開発と発展	久保 敏	22
[報告 3]	新幹線0系電車における車軸軸受システムの技術史	角田 和雄	29
[報告 4]	名鉄パノラマカーの開発と設計	白井 昭	37
名鉄 パノラマカー に関する資料 (山田貢編)	資料1 「連結電動客車「モ」7000型、「モ」7050型、「モ」7150型設計認可並びに特別設計許可申請」		54
	資料2 特殊設計（資料2ー1）先頭部緩衝装置（「モ」7000型）、（資料2ー2）旋回式標識灯装置（「モ」7000型）、（資料2ー3）電気式警笛（トランジスターホーン）装置（「モ」7000型）		57
	資料3 「認可許可書」		64
	資料4 「5500型 新造車御案内」		65
	資料5 5500形 クーラーカバー取付テスト（写真）		66
	資料6 「デラックス特急 新造車御案内」		67
	資料7 5500系 外観並びに機器配置・主要項目		68
	資料8 「Phoenix」（7000系パンフレット）		70
	資料9 モ7000形 車両概要		100
	資料10 モ7500形 車両概要・車体・台車		104
	資料11 MCM型制御装置		109
	資料12 7000系の模型（写真）		110
	資料13 7000系（写真）		111
	資料14 7000系の図面		113
	資料15 5500系、7000系、7500系の竣工年月日・基本編成表		136
	資料16 「モ7000型の衝突事故対策とその実際の効果について」『研究報告 No.5』		139
	資料17 踏切事故で破損した7000系（写真）		152
	資料18 パノラマカー余話（柚原誠）		153

シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第19回 講演報告資料集

(2001.2.24開催)

自動車大国を築いた国産車の技術史ー中部のクルマづくりの誕生・歴史と将来像ー

編集：シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第19回実行委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：2001.2.24、判型：A 4判、頁数：147

[特別講演]	クルマ技術発展の足跡と次世代への伝承	小口 泰平	1
[基調講演]	自動車大国日本のルーツー中部を中心にしてー	鈴木 一義	25
[講演 1]	トヨタ車の誕生、その前後ー愛知県の自動車事情ー	西川 稔	59
[講演 2]	1960年代のホンダF1	佐野 彰一	71
	社会情勢を綴った自動車用エンジンの動弁機構形式	杉本 漢三	125
資料	三菱「シルバーピジョン」スクーターの歩み	沖 信一	144

第20回記念シンポジウム「日本の技術史をみる眼」講演報告資料集 (特別企画2001. 6. 3開催、シンポジウム2002. 2. 23開催)
ものづくり中部の源流とこれからー未来へつながる技術の蓄積ー

付 シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第20回特別企画-奥村正二先生と21世紀へのメッセージ-講演録

編集：シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第20回実行委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：2002. 2. 23、判型：A 4 判、頁数：133

巻頭	日本の技術史の中における「ものづくり」・産業遺産	坪井 珍彦	1
〔基調講演〕	日本の技術史・5つの謎	内田 星美	6
〔特別講演〕	自動車 開発生産の現状と課題～グローバル化に向けて～	白水 宏典	8
〔講演 1〕	日本の陶磁器洋食器の製造と輸出の歴史	鈴木 啓志	26
〔講演 2〕	愛知の飛行機づくり	福原 順一郎	45
〔講演 3〕	中部の工作機械	長江 昭充	86
シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第20回特別企画 講演録ー奥村正二先生と21世紀へのメッセージー			
記念講演	実りある 20年 田沼意次と平賀源内 (講演録)	奥村 正二	100
対談	奥村正二先生と技術史研究70年 (講演録)	話し手 奥村 正二・聞き手 金子 六郎	106
講演	「日本の技術史をみる眼」三つの観点 (講演録)	内田 星美	114
講演	「技術史との出会い・学んだ先輩たち」と「21世紀に向けて3つの事」 (講演録)	黒岩 俊郎	118
	シンポジウム「日本の技術史をみる眼」ー20回の開催史ー	天野 武弘	122

シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第21回 講演報告資料集 (2003. 2. 22開催)

名古屋を育てた堀川ー産業遺産の視点からー

編集：シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第21回実行委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：2003. 2. 22、判型：A 4 判、頁数：86

〔基調講演〕	江戸・東京を支えた運河	島 正之	1
〔講演〕	名古屋の近代産業と堀川	近藤 哲生	7
	私と堀川	松田 勝三	19
	堀川総合整備の概要	近藤 和男	31
〔報告〕	堀川の人造石護岸	早川 恭子・天野 武弘	33
	庄内用水元杵樋と黒川の護岸	大橋 公雄	45
〔報告〕	堀川の橋ー産業遺産としての中橋と岩井橋ー	橋本 英樹・近藤 是・土橋 文明・永田 宏	50
〔報告〕	松重の閘門とポンプ所	野口 英一朗・中住 健二郎・天野 武弘	58
〔報告〕	堀川沿岸の荷役用機械設備	夏目 勝之・山田 貢	70
	既存の文献に見る堀川研究の現状	水野 信太郎	78

シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第22回 講演報告資料集 (2004. 2. 21開催)

明治の機械が語るもの

編集：シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第22回実行委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：2004. 2. 21、判型：A 4 判、頁数：104

〔講演〕	明治の機械と東海地域	鈴木 淳	1
〔講演〕	博物館明治村 機械館ものがたり	中野 裕子	5
〔調査報告〕	富岡製糸場で使用された横形単気筒蒸気機関	横形単気筒蒸気機関調査チーム 朝倉 昭二・天野 武弘・島 和雄・杉本 漢三・坪井 珍彦・永井 唐九郎・橋本 英樹	12
	12号蒸気機関車	橋本 英樹・近藤 是・白井 昭	42
	明治村東京駅転車台	橋本 英樹・土橋 文明・夏目 勝之・白井 昭	53
	明治村を彩る皇居飾電燈	坪井 珍彦	61
〔調査報告〕	明治村機械館展示の水車発電機に関する調査	高橋 伊佐夫・浅野 伸一・寺沢 安正・永田 宏	63
	明治村機械館の印刷機械調査報告	大橋 公雄・早川 恭子・井土 清司・山田 貢・夏目 勝之・野口 英一朗	73
	博物館明治村の石版手引き印刷機	野口 英一朗	84
	新橋停車場構内発電場の調査ー明治村に展示の汐留火力発電所の煙突基礎ー	寺沢 安正・浅野 伸一・高橋 伊佐夫・永田 宏	89
〔調査報告〕	機械が産業遺産として評価されるとき	天野 武弘・八田 健一郎	94

シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第23回 講演報告資料集 (2005. 2. 26開催)

～中部のものづくりと文化の流れ～ “からくり” からロボットへ

編集：シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第23回実行委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：2005. 2. 26、判型：A 4 判、頁数：51

〔講演〕	江戸の技術・からくりとトヨタコレクション	鈴木 一義	1
〔講演〕	ロボットの進化 今日の段階とこれから	末松 良一	15
	組み立て作業用ロボットのトヨタグループでの展開	久野 敏孝	32
	尾張庶民の夢を育んだからくり人形	千田 靖子	45

シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第24回 講演報告資料集 (2006. 2. 25開催)

自動車産業基盤確立期のモノづくり

編集：シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第24回実行委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：2006. 2. 25、判型：A 4 判、頁数：144

〔講演 1〕	トヨタ自動車における生産基盤の構築	大西 利美	1
〔講演 2〕	トヨタ自動車・鑄造工場の基盤確立期とその技術	坂野 武男	26
〔講演 3〕	トヨタ自動車・基盤確立期の鍛造設備	大西 匡	38
〔講演 4〕	トヨタ自動車・基盤確立期の車体づくりー溶接を主体としてー	武本 道一	69
〔講演 5〕	トヨタ自動車・基盤確立期の工作機械	島 和雄	84

[報告]	産業技術記念館に展示の粉炭炉と連続ガス浸炭炉の写真に関する調査報告～工業炉メーカーの技術者の視点から～	橋本 英樹	113
	戦後の中部地区での自動車産業と部品産業の発展	杉本 漢三	126
	トヨタ自動車の生産基盤確立期の機械－産業技術記念館展示の機械から－	天野 武弘・島 和雄	134

シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第25回 講演報告資料集 (2007. 2. 24開催) 中部の飛行機づくり～誕生からのあゆみ～

編集：シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第25回実行委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：2007. 2. 24、判型：A 4判、頁数：157

[基調講演]	日本の空～過去・現在・未来－国立科学博物館の所蔵資料から－	鈴木 一義	1
[講演 1]	中部の航空機産業の発展と将来	新郷 美可	8
[講演 2]	ヘリコプタの誕生から現在まで	山内 信義	27
[講演 3]	各務原の航空機開発と博物館	横山 晋太郎	68
	三菱重工業株式会社名古屋航空宇宙システム製作所・史料室の展示物紹介 よみがえるロケット戦闘機「秋水」	岡野 允俊	83
	MJに賭ける	岡野 允俊	89
	産業技術記念館の展示物紹介 ハ40/ハ140（ベンツDB601型）航空機用エンジン	杉本 漢三	90
	愛知の航空機工業とその産業遺産（1） 豊田喜一郎の航空機研究とその遺産	天野 武弘	99
	愛知の航空機工業とその産業遺産（2） 三菱の風洞と住友のプロペラ金型	天野 武弘・中住 健二郎	111
資料集	三菱重工業株式会社の戦前航空機		132
	川崎航空機（現川崎重工業株式会社）の戦前航空機		134
	愛知航空機（現愛知機械工業株式会社）の戦前航空機		136
	名航史料室探訪…展示史料で見る名航80年の歩み…		137
	中部産業遺産研究会主催 シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第1回～第25回開催史		152

シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第26回 講演報告資料集 (2008. 2. 23開催) なごやの港づくりの歴史とこれから～開港100年を迎えた名古屋港の産業遺産とその活用～

編集：シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第26回実行委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：2008. 2. 23、判型：A 4判、頁数：99

[基調講演]	日本の港湾と近代化	青木 栄一	1
[講演]	名古屋港築港の歴史	栗田 益生	14
[調査報告 1]	名古屋港周辺の産業遺産の保存と活用	大橋 公雄	22
[調査報告 2]	名古屋港周辺の荷役設備－名古屋港駅線路配置図から－	山田 貢	29
	名古屋港周辺の荷役設備－旧港の鉄道施設を中心に－	土橋 文明	36
[調査報告 3]	名古屋港の水面貯木場	堀 恭子・天野 武弘	38
[調査報告 4]	四号地に建っていた灯台－築地灯台・名古屋港導灯など－	大橋 公雄・野口 英一朗	58
資料集	名古屋港周辺の産業遺産リスト	大橋 公雄	74
	名古屋港の荷役機械・倉庫の写真集	天野 武弘	78
	名古屋港の築港関係年表（1）～（11）	天野 武弘	83
	中部産業遺産研究会主催 シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第1回～第26回開催史		94

シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第27回 講演報告資料集 (2009. 2. 28開催) 産業遺産の保存と活用のありかた

編集：シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第27回実行委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：2009. 2. 28、判型：A 4判、頁数：54

[基調講演]	近代化遺産の保存と活用	中山 俊介	1
	「産業遺産の保存と活用のあり方」について	鈴木 一義	15
	博物館明治村の近代化遺産（産業）	飯田 喜四郎	22
	産業技術記念館における産業遺産の保存と活用のあり方	岩崎 充博	26
	産業遺産の動態保存と文化財	天野 武弘	33
資料	中部産業遺産研究会主催 シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第1回～第27回開催史		48

シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第28回 講演報告資料集 (2010. 2. 27開催) 名古屋テレビ塔とアナログ放送半世紀

編集：シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第28回実行委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：2010. 2. 27、判型：A 4判、頁数：149

[基調講演]	名古屋テレビ塔とアナログ放送半世紀～アナログテレビジョン放送における産業遺産について～	大澤 和宏	1
[講演①]	テレビ放送の番組制作と送出のあらまし	中村 敏夫	9
[講演②]	テレビ放送送出業務の手動から自動へ－APC自動番組送出装置の概要－	井上 英雄	18
[講演③]	VHFテレビ送信機～真空管から固体化へ～	澤栗 裕二	25
[講演④]	UHFテレビ送信機～クライストロンから固体化へ～	木村 善次	36
[講演⑤]	テレビ中継放送機の変遷と発展	村瀬 治夫	50
報告	テレビ放送チャンネルプランの変遷	永田 宏	60
	中部日本放送の電波申請から白黒テレビ放送の完成	小野 昭	77
	マイクロ波送信機のトランジスタ化と運用の実際	池下 源一郎	83
	カラー化全固体映像機器の開発と製品化	平岩 昭三	86
	CBCのテレビ送出システムの概要と発展	村松 健彦・北野 祐一	94
	テレビ中継放送局（TVサテライト局）の建設と保守の動向	澤栗 裕二	103
	テレビ番組中継マイクロ波回線	永田 宏	115
	アナログテレビジョン放送局（親局）一覧表（在名・VHF局）	永田 宏	124
資料	アナログテレビジョン放送局（親局）一覧表（在名・UHF局）	永田 宏	125
	アナログテレビジョン放送局（親局）一覧表（岐阜・三重）	永田 宏	126
	テレビのチャンネルで7chは188MHz～194MHz 8chは192MHz～198MHzと2MHz重なっている理由	永田 宏	127
	真空管との出会いとコレクション	村松 健彦	128
	テレビ・ラジオ放送の産業遺産紹介 中部日本放送収蔵のテレビカメラなど	大橋 公雄	131

高柳健次郎とテレビ発祥の地の遺産－静岡大学高柳記念未来技術創造館と旧浜松高等工業学校跡地－	永田 宏・井土 清司・天野 武弘	135
東京タワーにおけるテレビ放送開局と送信空中線	永田 宏	140
関東・名古屋地区の地上デジタル送信空中線の概要	永田 宏	142
中部産業遺産研究会主催 シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第1回～第28回開催史		143

シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第29回 講演報告資料集 (2011.3.5開催)
私のまわりの産業遺産－記録・保存・活用の事例－

編集：シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第29回実行委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：2011.3.5、判型：A4判、頁数：170

	開催にあたって	八田 健一郎	
[報告]	半田の産業遺産と観光資源化	赤崎 まき子	1
[報告]	近代化遺産の保存と活用に関する課題～豊田市の事例より～	天野 博之	7
	やきものを活かした“まちづくり”	寺沢 安正	12
	タンペレにおける産業遺産の活用	森田 優己	14
[報告]	文献（知の遺産）復刻と普及・活用	水野 信太郎	16
[報告]	回り舞台機構の変遷を通してその保存・活用を考察する	坪井 珍彦	21
	旧木曾川町会議事堂の保存活用	岩井 章真	28
[報告]	依佐美送信所の建物－失敗事例として－	野口 英一朗・水野 信太郎	30
	産業技術記念館のシャシダイナモータ	八田 健一郎	33
	旧八百津発電所資料館	浅野 伸一	35
	古川自家水力発電所の調査・保存・展示・活用について	高橋 伊佐夫	38
	旧稲葉地配水塔の保存と活用（現・名古屋市演劇練習館「アクテノン」）	大橋 公雄	42
[報告]	依佐美送信所の長波送信設備の調査と保存	石田 正治	46
	北濃駅転車台の調査・保存・展示・活用について	高橋 伊佐夫	53
	貨物鉄道博物館	大島 一朗	57
[報告]	トラスト運動による愛岐トンネル群の保存	山田 貢	64
	中川運河の現状と活用構想－産業遺産になりつつある中川運河の現状と活用について－	柳田 哲雄	68
	南極観測船（砕氷艦）「ふじ」の保存と活用	杉本 漢三	71
	三菱重工業株式会社名古屋航空宇宙システム製作所 小牧南工場史料室の20年	岡野 允俊	74
	愛知大学「産業館」の公開	天野 武弘	80
	神屋地下堰堤	永田 宏	85
	人造石工法による土木遺産の調査と見方	天野 武弘	92
	昭和初期の鉄筋コンクリート造の劣化調査例	長谷川 哲也	96
	東海地方最大煉瓦建築の実測・その後 旧カプトビール工場の初調査と現状	水野 信太郎	102
	尾西地方の鋸屋根工場群の調査	岩井 章真・小野 雅信・野口 英一朗	107
	記録したが発表されていない事例	野口 英一朗	110
	鋼材圧延機の見方 産業遺産の記録の観点から	寺西 克己	113
	博物館明治村の機械館に保存の蒸気機関・平削盤・旋盤	島 和雄	122
	賤母発電所初代発電用水車の保存と消滅	田口 憲一	126
	名古屋テレビ塔の送信アンテナを考える－アナログ放送からデジタル放送への移行に伴って－	永田 宏	128
	名鉄岡崎市内線の廃線跡	藤井 建	134
	北恵那鉄道木曾川橋梁	田口 憲一	138
	東京駅の東海道新幹線のホームにある十河信二のレリーフ	橋本 英樹	140
	NPO法人名古屋レール・アーカイブスの現状	藤井 建	142
	博物館明治村の鉄道に残る手ブレーキによる制動システム	橋本 英樹	144
	明治村の品川燈台	井土 清司	149
	東海地方の軍事航空遺産	島本 知明	154
	富士木工株式会社 SK式21型 中級滑空機	早川 博康	157
	明治航空基地の非常用発電所遺構の調査手法	中住 健二郎	161
	中部産業遺産研究会主催 シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第1回～第29回開催史		164

シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第30回 講演報告資料集 (2012.2.26開催)
産業遺産研究の歴史と現状を考える

編集：シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第30回実行委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：2012.2.26、判型：A4判、頁数：71

[基調講演]	産業遺産研究のこれまでと今後への期待	佐々木 享	1
[報告]	シンポジウム「日本の技術史をみる眼」と産業遺産－開催30年を振り返って－	天野 武弘	20
	土木における産業遺産研究に関するこれまでの取り組み、現状と課題	馬場 俊介	28
	建築学あるいは建築術と歴史研究－そして産業考古学へ－	水野 信太郎	44
	産業遺産研究の歴史・現状・今後－歴史学（社会経済史）の視点から－	種田 明	52
	中部産業遺産研究会主催 シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第1回～第30回開催史		65

シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第31回 講演報告資料集 (2013.3.24開催)
技術史を学ぶことと今後の技術革新とは

編集：シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第31回実行委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：2013.3.24、判型：A4判、頁数：88

[講演]	製鉄技術史を次世代に継承するために－世界遺産登録に関わって－	松尾 宗次	1
	科学博物館における技術革新研究およびその成果の活用について－スミソニアン協会の事例から－	財部 香枝	24
	技術史教育と産業遺産	天野 武弘	40
	「技術史をみる眼」をどのように活かすか	橋本 英樹	49
	技術史について考える	山田 貢	55

	美術史から工学史へーさらに産業技術史研究への道ー	水野 信太郎	63
	技術の伝承に係わる教育について	杉本 漢三	74
	中部産業遺産研究会主催 シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第1回～第31回開催史		81

シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第32回 講演報告資料集 (2014. 3. 23開催) 技術革新と技術史を学ぶこと

編集：シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第32回実行委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：2014. 3. 23、判型：A 4判、頁数：27

[講演]	技術革新と適正技術ー戦後の鉄鋼技術革新と3・11を経験しての技術のあり方から考えるー	黒田 光太郎	1
[講演]	20世紀の日本の化学技術ー21世紀を展望するー陶磁器およびアンモニア合成を例にー	亀山 哲也	13
	中部産業遺産研究会主催 シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第1回～第32回開催史		20

シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第33回 講演報告資料集 (2015. 2. 22開催) 博物館における動態保存のあり方

編集：シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第33回実行委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：2015. 2. 22、判型：A 4判、頁数：56

[講演]	近代文化遺産の保存と動態保存に関して	中山 俊介	1
[講演]	動かし続けることにこだわる博物館ートヨタ産業技術記念館の意義と課題ー	成田 年秀	4
[講演]	歴史ある工作機械をいかに甦らせるか	三好 稔幸	22
[講演]	ドイツ・ラインラント産業博物館 ミュラー生地工場の機械	マイヤー オリバー	31
	機械の動態保存ガイドラインの提案	天野 武弘	36
	博物館明治村での12号蒸気機関車の動態保存	橋本 英樹・白井 昭	40
	中部産業遺産研究会主催 シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第1回～第33回開催史		48

シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第34回 講演報告資料集 (2016. 2. 21開催) 稼働遺産とその活用ー新たな展開を求めてー

編集：シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第34回実行委員会、発行：中部産業遺産研究会、発行日：2016. 2. 21、判型：A 4判、頁数：42

[基調講演]	産業遺産の評価と保存ー「明治日本の産業革命遺産」世界遺産登録の経験からー	清水 憲一	1
[講演]	現役の鉄道可動橋 末広橋梁	葛山 拓也	10
[講演]	未だ稼働し続けるシャトル織機	成田 年秀	16
	大井川鐵道での鉄道保存を顧みて	白井 昭	28
	中部産業遺産研究会主催 シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第1回～第34回開催史		32